

2024 年度

明海大学大学院

応用言語学研究科

博士前期課程 A 日程

外国語試験問題

注意事項

- 1 解答開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
- 2 日本語・英語・中国語から 1 言語を選択して解答してください。ただし、母語を選択することはできません。

2024年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1 / 3

目 程	研 究 科	区 分	試 験 科 目
A日程	応用言語学研究科	一 般 社 会 人 外国人留学生	日 本 語

第1問 (1)～(10)の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 学習者が意識していると 推察 できる。
- (2) これはAの意味が 希薄 になっている。
- (3) これは論文の目的から 逸脱 している。
- (4) 今後も 追跡 していく必要がある。
- (5) 本稿の 冒頭 で説明したとおりである。
- (6) 本研究で使用したデータには 偏り がみられる。
- (7) 第二章では先行研究を 概観 する。
- (8) これに関する研究は 管見 の限り、見当たらない。
- (9) 今回は紙面の都合上、Aについては 割愛 させていただく。
- (10) 研究の目的に 合致 した方法で調査する。

第2問 (11)～(20)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) インタビュー調査では時間が限られていたので、まと を絞って質問した。
- (12) 本研究では教育方法や評価方法の かいぜん を目指す。
- (13) 本研究は理論だけでなく教育現場にも こうけん しうるものと考えられる。
- (14) 参考 ぶんけん リストを作成する。
- (15) 今後の課題はAについても たんきゅう していくことである。
- (16) ひけんしゃ の同意を得て、調査が進められた。
- (17) 本研究の結果は山田(2000)の結果を ついにん するものであった。
- (18) 調査の際、協力者に対して以下のように きょうじ した。
- (19) この研究では政治的 よういん の関与を否定している。
- (20) 本節ではデータの かいしゃく に基づいて、考察する。

第3問 次の文の下線(21)～(25)に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

- ・ 仮説の (21) を行うため、信頼性のある調査データを収集する必要がある。
- ・ 本節では主題にかかわる重要な (22) を整理する。
- ・ データの (23) の種類によって、整理の仕方が異なる。
- ・ 先行研究では二言語の文法体系を (24) させながらまとめているが、その枠組みについては (25) がなかった。

A.論証 B.変数 C.言及 D.概念 E.融合

2024年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

第4問 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

2024年度応用言語学大学院研究科博士前期課程入学試験問題

No. 3/3

日程	研究科	区分	試験科目
A日程	応用言語学研究科	一般 社会人 外国人留学生	日本語

- (1) 空欄 に入れるのにふさわしい文中の一語を記しなさい。
- (2) 下線部B 「塗り箸箱」(ぬりばしばこ、ぬりはしばこ)も同様だ とあるが、同様だとすると、「ぬりばしばこ」と「ぬりはしばこ」はどう違うのか、わかりやすく説明しなさい。
- (3) この記事を通じてわかったことを元に、言語の法則について、あなたの考えも含め、120字以上150字以内で述べなさい。